



グループ通信



ふれディア

FUREDHIA

発行/ふれディアグループ本部 編集部

〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4

朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎0120-116-017

こんにちは、ふれディア通信編集部です。近年、母の日のプレゼントとしても人気のアジサイは、花色も咲き方も同じ種類の花とは思えないほどバリエーションがあり、ビックリしてしまいます。丈夫で育てやすく、鉢植えでも地植えでも、仕立て次第で色々な楽しみ方ができますよね。そのアジサイですが、原産国は日本だと言われています。セイヨウアジサイといわれている種類もありますが、それはシーボルト博士が日本のアジサイをヨーロッパに紹介し、そこで品種改良されたものだそうです。アジサイは元々、山の中に自生している植物で、根を横に広く浅く張ることから土砂崩れを防ぐ働きがあるとか。その特性を活かして、傾斜地にあるお寺にもたくさん植えられるようになったようです。アジサイの名所にお寺が多くあるのは、それが理由のひとつとされています。豪華な姿だけれども控えめな花色が、お寺のしっとりとした風情にぴったり！ということもあるかもしれませんね。お釈迦様のお誕生日の花祭りには、お釈迦様の像に甘茶をかけたりしますが、あの甘茶の原料は実はアジサイの一種なんです。砂糖の数百倍とも言われるその甘さは甘味料として利用されてきましたし、抗アレルギー成分も認められていて、漢方薬の材料としても有名です。お寺では観賞用としてだけでなく、実益も兼ねて植えたのかもしれませんが。さて、同じ場所に、同じ種類なのに色が違うアジサイが咲いているのを見たことはありませんか？雨の多い日本では、コンクリートブロックや漆喰の成分が雨水に溶けて地面に吸収されるので、同じ敷地内となり合う土でも、酸性度が変わることがよくあるそうです。そのため、青い花のとなりに紅色の花が咲くことも。また、アジサイは花期が長く、ゆっくりと花色が変化していくのも魅力のひとつです。咲き始めの瑞々しい色から、円熟味を感じさせる色まで、ひとつの花で長く楽しめます。乾燥させてドライフラワーにしてもナチュラルなインテリアに馴染みますので、時期を過ぎてもしばらくの間はアジサイ鑑賞ができますね。

ふれディア通信編集部

幸福の前ぶれ？
不幸の予兆？

ラッキージンクス&アンラッキージンクス

今月のジンクス

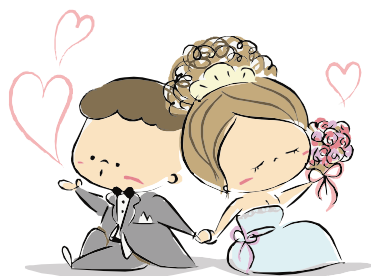
「結婚にまつわるジンクス」



6月に結婚した女性は幸福になれるという“ジュンブライド”と呼ばれる西洋のジンクスは、6月が結婚生活を守る女神・ジュノーの月であるところから来ています。そこで今回は6月ということで結婚にまつわるジンクスをご紹介します。まず、恋愛中の方が結婚を予兆させるジンクスには、「流れ星を見る」「鳥のつがいを見かける」「眠気がとれない」といったものがあります。さらに「ヘビを見る」というものもあり、特に白いヘビはラッキーアイテムで、夢の中に登場するのも幸運の兆しだそうです。また、西

欧では神様が新郎新婦の代わりに一生分の涙を流してくれるという理由で、「雨の日に結婚式を挙げると幸せになれる」というジンクスもあります。また、アーモンドを砂糖でコーティングしたフランスのお菓子“ドラジェ”には、「健康」「幸福」「富」「子孫繁栄」「長寿」などの意味があり、古代ローマ時代から結婚式のプチギフトとしてよく使われていたそうです。

結婚のジンクスは聞いているだけで幸せな気持ちになりますね。



日本や世界には、さまざまなジンクス・迷信・言い伝えがあります。ただし、ジンクスはあくまでもジンクス！アンラッキーなジンクスが起きても科学的な根拠はありませんのでご安心ください。